

かっこいい人

細木 真歩

私は、今年の十月末に長岡で起業しました。高齢者にIT支援をする株式会社です。

最近ではネットが使えないと生活が難しく、さらにコロナウイルスの感染拡大によって、気軽に人に会うことができなくなりました。そんな中で、ITの御用聞きが必要だと感じたのがきっかけです。

会社の活動では、毎週土曜日に市民センターでスマホ教室をひらき、パソコンやご自宅のネットについて、困っていることやわからないことの相談に乗っています。また、コロナウイルスの影響で、遠くに住んでいるお孫さんやご家族と会えない方に向けて、テレビ電話の導入をお手伝いする活動をしています。

スマホ教室を始めてから、長岡にお住まいの高齢者の方にたくさん会いました。私は学生ですから、高齢の方に会うといたら親族やご近所さんくらいなものでした。別に嫌い

だったわけではありません。ただ、機会がなかったのです。

スマホ教室に来てくださる方は、みな勉強熱心で、丁寧で、親切でした。私よりたくさん生きて、たくさんを知っている人たち、私が、私の話をよく聞いてくれて、「教えてくれてありがとう」と笑顔で言ってくれます。スマホ教室が終わってから、いつも考えることがあります。

「私は、これから年を重ねて行って、この人たちのようになれるのだろうか」。

年をとってなお、まだ何かを学びたいと思えるだろうか。自分よりずっと年下の相手に、何かを教えてほしいと頭を下げられるだろうか。笑顔でお礼が言えるだろうか。若い人や学生たちに、かっこいいと思ってもらえるような人になれるだろうか。

正直なところ、私は年を取りたくないと思っ  
ていました。ずっと若いまま、元気で綺麗  
なまままでいられたらいいのにと考えていま

した。ですが最近は、こんなおばあちゃんに  
なりたいと思う人がたくさんいて、年をとる  
ということが、輝いて見えるのです。

長岡には、素敵なおじいちゃんやおばあち  
やんがたくさんいる。それを知ってから、私  
は前より長岡が好きになりました。こんなか  
っこいい人たちが先輩ならば、若者として安  
心して、そして誇りを持って活動できると思  
いました。

会社を設立してから、早くも一か月以上が  
経ちました。まだまだ、やらなければならな  
いこと、解決しなければいけないことがたく  
さんあります。誰かの役に立ちたいと思っ  
ているけれど、自分の未熟さを知る毎日。スマ  
ホを教えている立場でありながら、教えてい  
ただいていることのほうがずっと多いです。  
たくさんの人に支えてもらいながら、会社  
はなんとか成り立っています。

これからも、長岡の高齢者の皆さんが、便  
利に暮らしていけることを目指して活動して

いきます。私が出会った素敵な人たちを知つてもらうため、多くの若者も巻き込んでいきたいです。

そして、いつかは私も、「こんな人が先輩にいる長岡ならば」と思ってもらえるような、かっこいい人になりたいと思っています。